

# 世界農業遺産と家族農業に関する 国際シンポジウム2021



Food and Agriculture  
Organization of the  
United Nations

Globally Important  
**AGRICULTURAL  
HERITAGE**  
Systems



令和3年10月18～20日、世界農業遺産（GIAHS）及び家族農業の重要性、それらを支える制度や取組み、及びGIAHSが家族農業の活性化に果たす役割等への理解を深めるため、国内外の専門家等関係者を集め、国際オンラインシンポジウムを開催。シンポジウム参加者数は200名前後。なお、同シンポジウムは、農林水産省の令和3年度FAO拠出金事業「持続可能な家族農業国際活動支援事業」の活動の一環としてFAOが実施したものの。

全体モデレーター：遠藤 芳英氏（FAO GIAHS コーディネーター）

黄色枠は、登壇者の主要な発言

## 1日目：国連「家族農業の10年」関係者による講演

### 【登壇者】

Marcela Villarreal氏（FAOパートナーシップ・国連協力部長）

Laura Lorenzo氏（世界農村フォーラム代表）

Irish Baguilat氏（持続可能な農村開発のためのアジア農民連合会）

関根 佳恵氏（家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン常務理事）

家族農業は、食料農業システム及びSDGs達成の核

家族農業の強化には、長期的な活動が必要

GIAHS認定地域は、  
伝統的家族農業をベースとした農林水産業システム

## 2日目：GIAHS認定地域の関係者による講演（各地域の特徴やGIAHS認定後の取組み、家族農業との関係性等について）

## 3日目：パネルディスカッション（家族農業の促進・活性化に果たすGIAHSの役割や関連する政策や活動等について）

### 【登壇者】

チリ、中国、スペイン、チュニジア、日本（宮城県・徳島県）の5か国6地域の代表が登壇

GIAHSの掲げるコンセプトは、家族農業の目指すべきモデルとして効果的

GIAHSには、食料生産に関わる多様な意味や価値を認める手段としての役割を期待

GIAHS認定を通じて、各地域及びその構成要素である家族農業に対する認知度向上、生産物の付加価値向上、農村ツーリズムの活性化等が期待できる

GIAHS認定後も保全計画を継続することが重要



徳島県「にし阿波の傾斜地農耕システム」



チリ「チロ工農業」



中国「青田の水田養魚」